

中小企業あきた

- 1 「きりたんぼみそ鍋」を新提案 1
～秋田県味噌醤油工業協同組合～
- 2 組合代表者から要望を伺う 2
～地区別組合代表者懇談会～
- 3 県内高速道路の整備促進を要望 4

- 中小企業組合等支援施策情報 4
- 組合・企業探訪 5
- 景況レポート7月分 6
- 話題の広場
中央会事業より 8
- アラカルト 9
- インフォメーション 9
- 中央会職員コラム 10



TOPICS 1 「きりたんぼみそ鍋」を新提案 ～秋田県味噌醤油工業協同組合～



[きりたんぼみそ鍋を新提案した記者会見]

秋田県味噌醤油工業協同組合(浅利滋理事長)は、秋田みその需要拡大の一環として、JA全農あきたや秋田県、県総合食品研究センターと「きりたんぼみそ鍋協議会(三浦将人会長)」を立ち上げ、8月22日(水)秋田市のルポールみずほにおいて、きりたんぼ鍋の新しい食べ方として『きりたんぼみそ鍋』を提案する記者会見及び試食会を開催しました。

全国的に知られる「秋田のきりたんぼ鍋」が比内地鶏でダシをとった醤油ベースのスープであるのに対し、組合が提案する「きりたんぼみそ鍋」は、秋田みそをベースに県産の豚肉、野菜、きのこを使用することとしています。

試食会では、県内の料理研究家らが考案した5種類のきりたんぼみそ鍋が来場した飲食店等の関係者らに振る舞われ、味付けや調理方法などについて意見交換が行われました。

その中で、野菜ソムリエの最上美貴子氏が考案したみそ鍋は、秋田みそと相性の良いクリームチーズを組み合わせることで、子どもから大人まで美味しく野菜を楽しめる味つけとなって

おり、試食した関係者らは「リゾートに近い感覚で美味しい。地元野菜と組み合わせた鍋の提供も考えたい」など意見を出し合っていました。

この取組について、組合の安藤大輔副理事長は「県内外で知名度の高いきりたんぼ鍋の新しい味として定着させることで秋田みその消費拡大に繋げたい」と話しており、今後ホームページ等を通じて情報発信に力を入れていくほか、のぼりやポスターを希望する飲食店に提供したり、イベントに出店することで、県内外において普及活動を行うこととしています。



[きりたんぼみそ鍋の一例]